



リーズレター 春夏秋冬 2018年立春

No.15 (通No.94)

2018年2月4日

季節のご挨拶に代えてお送りしているレター、名前を「春夏秋冬」にあらため新年初号

いざ、新一年はじめる！立春



大阪城公園梅林に今年も蝶梅

自律と協働の次代者たち

『言うは易く行は難し』のく協働。新年早々に会った次代経営者たちのグループはそれを見事に実践。試行錯誤、紆余曲折あつてのことと想像。その間に自律性を磨き、個々の得意分野を融合させ、気の利いたセンスの良いモノを創出。各人、自社以外の創造空間でくあそぶくことが本業にいい風、表情に浮かぶは静かな自信と誇り。

連日あまりの寒さに震え上がった1月。でも刻々と日はのびて、陽が徐々に明るくなるこの時期、立春です。

まだ寒くても陽気が立ち始めて、気力を後押しするのか、にわかに意気もあがり始めますが、いかがでしょう。

自然のほうは一足先に新しい一年が動きだし、社会生活のほうは、4月から新しい一年が始まります。

その4月に人生を新たにしている人が身近でも少なからず。自分を生きるために、あるいは自分以外の人のために。

4月以降の道を決めていない方もいますが、まずは途上に区切りをつけてから、というわけです。

でもちゃんとふさわしい場所に出会わず。淡々と人のためになる役を果たしてきたキャリアの人ですから。

今年が仕事と人生の集大成の年と臨

む経営者の方もいます。未来のために今、大きな節目を創る志気、胆力。

新しい試みには軋轢や葛藤はつきもの。それらに吞まれない度量も、葛藤の蓄積の果実といえるでしょう。

仕事と人生の節目、転機に出会うことの多い仕事です、パーソナル・アシスタントとしても、診断士としても。

個々人の深い思い、意志、精神にふれ、しみじみと、人に人生あり、物語ありと感じています。

前途を拓く人たちの物語の一端に参加することになる仕事。その自覚を今あらためてかみ締めています。

さいわいにしてそれ相当の年齢になり、よき助言者として、ときに厳しい苦言も様になりそうです。

そのためにも精進をかさねる新一年をまた、はじめるといたします。

見聞感考 | 大人に要りそうな情操教育

情操。辞書には「美しいもの、すぐれたものに接して感動する、情感豊かな心。道徳的、芸術的、宗教的など、社会的価値をもった複雑な感情」。

友人を失った人がニュースのインタビューに答えて、追悼文かと思う言葉で話している姿に怪訝な気持ちを持ち始めてかなりになります。

相手の相談に応じて真剣に助言していても先方の返事や表情、体全体から伝わる反応が、空虚な印象の人がいるのは気になっていました。

過日ラジオを聴いていて、ゲストとパーソナリティーの男性二人の会話になぜかしら居心地の悪さを感じて、切りま

どうしてだろうと後で考えて、いきついたのは、情、情感が伝わってこないんだということ。

昨年読んだ「岡潔」も『私の日本語雑記』の「中井久夫」も、同じように、く知くの前にく情くが大事だと強調していました。

社員研修に読書をとりいれる会社も最近チラホラ。情操教育の一方策としてもよいですね。



『数学する人生 岡潔』

「ヒブリオバトル」!

10年前の2008年に京都で生まれたというく知的書評合戦く。普及委員会が立ち上がっていて全国各地に地域代表もいるそう。直近では2月3日、17日、3月3日にクレオ大阪中央館で開催。一見の価値ありそう。

LEE'S リーズ

<http://www.leeslee.com>

〒530-0012

大阪市北区芝田2-8-15

北梅田ビル35号

リー・ヤマネ・清実